

基本目標

健康でいきいきとした横越の創造

わが国は、二十一世紀初頭において、出生率の低下と平均寿命の伸びにより、人口の四人に一人が高齢者という本格的な少子高齢化社会を迎えると予想されています。

横越町においても、年少人口の減少が続く、高齢化が進んでいます。高齢化社会の到来に対して、豊富な経験と技術を持つ高齢者が地域社会で活躍できる環境を整備し、いきいきと暮らすことのできる長寿社会にふさわ

わしいまちを目指します。少子化への対応については、安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、地域社会全体で助け合うような社会システムをつくりあげていきます。

また、核家族化、女性の社会進出など家庭を取り巻く環境変化もあって、健康や医療に対する住民ニーズが高まり、多様化しています。

このため、子どもから高齢者まで、障害者も一般住民もすべ



医療サービスが受けられるよう、医療施設の整備、老人保健施設の充実など保健・医療体制の整備に努めます。

②あたたかみのある福祉社会の推進

地域の社会福祉については、福祉教育などを通じて住民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、思いやりと助け合いの心を育てながら、住民の参加と連携に支えられた福祉体制づくりを進めるとともに、住民のボランティア意識の高揚を図り、ボランティア活動の一層の推進に努めます。

児童福祉については、未来ある子どもたちが健康で健やかに成長できるよう、保育施設や保育内容の充実を図ります。

また、高齢化の進展に伴い、支援を必要とする高齢者が増えつつありますが、保健・医療・福祉が連携した総合的なサービスの拡充を図りながら、在宅福祉や施設福祉を充実させていきます。



ての人が助け支え合いながら、ともに健やかに生きがいを持ち、安心して暮らすことのできるよう、保健・医療・福祉サービスの一層の充実に向けていきます。

なお、基本目標実現のために、次の三つの「施策の基本方向」を定め事業を推進していきます。

①健康づくりと医療の充実

全ての町民が健康で明るくいきいきと過ごせるよう、各世代に応じた健康維持や健康増進対策、疾病の予防、早期発見・早期治療対策などきめ細やかな保健活動を維持し、町民の健康づくりに取り組めます。また、町民誰もが、いつでも、どこでも

③生きがいある長寿社会の充実

本格的な長寿社会を迎え、高齢者の生きがいづくりが重要となっていますが、高齢者の学習や就業の場の確保に努めるとともに、豊富な知識や経験、技術をもつ高齢者が活躍できる多様な社会参加の機会を拡充し、いきいきとした長寿社会づくりを進めていきます。

次回は、地域づくり・交流の分野についての基本目標と施策の基本方向について掲載する予定です。

～保健・医療・福祉の分野における施策～

基本構想に掲げる将来像と基本目標を実現するため、前期基本計画(平成10年度～14年度)において、次により施策を展開していきます。

